福島（帯南商3年）快走 女子100 11秒79

陸上春季サーキット第1戦

今季日本高校2位でV

佐藤（帯農3年）好記録 女子砲丸投げ13メートル65

陸上競技の春季サーキット第1戦（十勝陸上競技協会主催）は6日、帯広の森陸上競技場で行われ、トラックシーズンが幕を開けた。一般女子百㍍は福島千里（帯南商高3年）が11秒79（追い風1・7㍍）の今季日本高校ランキング2位の快走で優勝し、幸先良いスタートを切った。同砲丸投げは佐藤あずさ（帯農高3年）が13㍍65の好記録をブットしV。一般男子走り幅跳びはルーキーの皆川澄人（白樺学園高1年）が7㍍にあと一歩の6㍍95で制した。中学男子四百㍍は梶川顕寛（広尾中3年）が自己新の52秒25で快勝した。記録は後日掲載。（丸山一樹）

【一般女子百㍍】好記録へ向け快走する福島千里（帯南商高）

練習ブランクも最高のスタート

○…女子砲丸投げで、昨年の国体、インターハイ2位の佐藤あずさ（帯農高3年）は開幕戦を13㍍65の好記録でまとめ一般を制した。すでに全国の表彰台が確実な水準。最高のスタートだ。

1月には左ひざに水がたまり、約1カ月間、練習ができない試練に見舞われた。それだけに佐藤もほっとした様子。

今年は同校の女子主将を任された。チームメートへ掛ける一言一言に気を配ることもあるが「広い視野を持ち競技に取り組める」と、大役を全うし、自己の成長に結び付けようとする。

今季開幕時、佐藤は日本の現役高校生の中で唯一の14㍍プッター（自己ベストは14㍍09）だったが、シーズンインすると添上高（奈良）の選手が14㍍台をマーク。全国制覇は一筋縄ではいかない。

だが佐藤も「サーキット第3戦（20日）までには14㍍を」と、春先の段階で高いパフォーマンスを発揮し、夏のインターハイへ備えるつもりだ。

【一般女子砲丸投げ】開幕戦ながら、力強い投てきを見せる佐藤あずさ（帯農高）

梶川自己ベスト 全国への好感触

○…梶川顕寛（広尾中3年）は中学男子四百㍍で52秒25の自己ベストをマーク。目標とする全国中学校大会出場へ向け一歩前進。「かなり良い感じ」と、自身でも好感触を得た。

前半200㍍の加速が梶川の持ち味。だが、この日は、スピードを生かすべきバックストレートに強い向かい風が吹き、苦しめられた。悪条件下での好記録だった。

「きょうの走りで手応えは感じた。あとは肩の力を抜く走りをしていきたい」と笑顔だった。

【中学男子四百㍍】自己新の快走を見せた梶川顕寛（広尾中）

全国へインパクト

福島 切れある走り健在

「好記録が出るとは思っていなかった」。一般女子百㍍の福島千里（帯南商高3年）がマークした記録は11秒79の今季日本高校ランキング2位。自らも思わず驚く。

試合感覚をつかむことが目的だったはずの開幕戦が、いきなり全国の強豪にインパクトを与える価値あるレースとなった。

「最後までリラックスしていた。出来過ぎ」と辻吉則監督も言うことなしの展開。持ち味である、上下動の少ない、切れのある走りは健在だった。開幕戦で12秒11をマークした昨年は、最終的に11秒70（自己ベスト、日本高校歴代4位）までタイムを伸ばした。今年も期待が膨らむ。

今季日本高校ランキング1位は高橋萌木子（埼玉栄高3年）の11秒71だが、ハイレベルな選手が集う織田記念陸上（4月29日）でマークしたもの。競り合う相手のいない独走状態で走った福島は、実測7㍍を記録したが、惜しくもファウル。大台到達は次へ持ち越された。

4月中旬に足の前ももを肉離れ。調整の遅れも懸念されたが、開幕戦で不安をあっさりと一掃した。昨年の国体少年B（中学3年と高校1年の部）では中学生最高の6位に入っており、今年は優勝候補の一角。今は、まだ他の選手たちと力が並んでいる状態。一歩抜け出すため力を付けたい」と冷静に話していた。

助走力強く跳躍 齋藤1メートル50でV

齋藤鈴子

○…中学女子走り高跳びは齋藤鈴子（幕別中3年）が自己記録を2㌢更新する1㍍50で制覇。集中力を見せ、最終3回目での成功だった。

「スピードに乗っていた」と、力強い助走が跳躍へと結び付いた。踏み切る直前の足運びのリズムを安定させることが課題だが「これをきっかけに記録を伸ばしていきたい」と、視線の先には全国大会参加標準記録の1㍍57がある。

作者と楽しむ絵本講座

十勝毎日新聞社は、十勝千年の森で開催している絵本『カムイの森』の原画展会場にて、作者の本田哲也先生をお招きし「作者と楽しむ絵本講座」を開催します。

▽日　程　①5月14日（日）午前10時から正午
②5月21日（日）午前10時から正午
▽会　場　十勝千年の森（ランラン・ファーム）マンサードホール2階（清水町羽帯南10線、☎0156・63・3000）
▽内　容　本田哲也先生自身による絵本の読み聞かせと、お絵かきを行い、参加者全員に先生のイラストをプレゼントします。
▽参加料　無料
▽定　員　各日程30人
▽持ち物　画板、お絵かき道具（色鉛筆、クレヨンなど）
▽申し込み　十勝毎日新聞社事業局（☎0155・22・7555）
※応募いただいた個人情報は、連絡などで主催者のみが使用し、第三者には一切提供いたしません。

主催　十勝毎日新聞社

かちまいスポーツ

全道大会で初優勝を飾った須藤結香（前列左）と準優勝の勝沼元気（同右）。羅心会会員は2人に続けと気合が入る

羅心会

須藤 小学女子3・4年 優勝、勝沼 一般中量級 準優勝

「師弟」全道で活躍

フルコンタクトカラテ チャレンジT

フルコンタクトカラテの第2回チャレンジカラテトーナメント道央大会（実行委員会主催）がこのほど、千歳市開基記念総合武道館で開かれ、十勝から出場した羅心会（酒井新一師範、会員40人）の須藤結香（柏小4年）が小学女子3・4年の部で優勝、一般中量級で勝沼元気（20）が準優勝に輝いた。勝沼は須藤ら少年部員の指導員で、いわば師弟での上位入賞。5月下旬に池田町内で開催される同道東大会でも同様の好成績を目指し、気合も一段と増している。（大野篤志）

須藤は、初戦（2回戦）が不戦勝で、準決勝からの登場となったが、得意のローキック、ハイキックで合わせ一本を奪い決勝に進出。決勝ではパワーある右正拳中段突きで相手からダウンを奪い、試合続行不能で一本勝ちでタイトルをつかんだ。

昨年暮れから空手を始めてまだ半年足らず。2月に出場した初の大会では1回戦で敗れており、「次は勝つつもりで練習してきた。負けちゃうかなと思ったけれど、練習してきたローキックをたくさん出すことができた」と笑顔。指導員の勝沼は「正拳突き、けりともに同年代の男子にも負けないパワーがある。練習も熱心で、自分のペースで戦っていた」と目を細める。

勝沼は1回戦を不戦勝、準決勝はローキック、ハイキックなどを休みなく繰り出す持ち前の猛ラッシュで攻め立て、勝利。しかし、この試合中、右ハイキックを放った時に相手のブロックのひじに当たり、右足に歩くのがやっとという大きなダメージを受けた。

「決勝はこれまで2度戦って、2度とも判定で負けている相手。どうしても戦いたかった」と気力満々だったが、周囲が止め、決勝は無念の不戦敗。「体調はベストだっただけに残念」と悔しさをにじませる。

2人は5月28日に池田町総合体育館で開催される第1回チャレンジカラテトーナメント道東大会にも挑む。須藤は「ローキックをもっと上手になって、次も勝ちたい」と意欲を新たにする。勝沼も「出場する大会は全部優勝のみ。2位、3位は考えない」と闘志をかき立てている。

朝日浴び駆ける

早朝マラソン始まる

朝日を浴びながら、一斉にスタートする参加者

第31回早朝マラソン（帯広楽走会、十勝毎日新聞社主催）が7日午前6時から、グリーンパークで始まり、参加した約50人の参加者は朝日を浴びながら、思い思いのペースで駆け抜けた。

同マラソンは10月8日までの23回、毎週日曜日の午前6時から、グリーンパーク内の1、3、6キロの3コースを走る。

帯広楽走会の野々村一会長が「早朝のおいしい空気と森林浴を楽しみながら、最終回まで頑張ってください」、十勝毎日新聞社の和田郁夫事業部長が「一日でも多く参加し、秋まで自分のペースで楽しんでいってほしい」とそれぞれあいさつ。準備体操の後、参加者は一斉にスタートし、それぞれのコースに分かれて走った。

初回から参加している、千葉正春さん（65）は「最初は参加者も少なかったが、恒例行事となり参加者も増えてうれしい。初日は10月まで走りきる意気込みを込めて走る」と軽快にスタートしていった。

参加希望者は午前6時にグリーンパーク西側中央に集合するとよい。問い合わせは帯広楽走会事務局の清水重雄さん（35・6481）へ。（宮木宗久）

あす今季開幕戦

社会人軟式野球 丸山杯兼支部長杯

社会人軟式野球連盟帯広支部主催）は8日午前5時、市内の十勝川河川敷球場で開幕する。

今大会から1次戦も1会場1日1試合で実施される。雨天時の試合実施の有無は当日午前4時に現地判断される。携帯電話でもアクセス可能なインターネット情報発信も行う。アドレスはhttp://www.tokachi.co.jp/asabb/

第35回支部長杯大会（道軟式野球連盟帯広支部主催）は8日午前5時、市内の十勝川河川敷球場で開幕する。

今大会から1次戦も1（午前5時試合開始）

▽十勝川A＝ダイナマイツ＝帯広松下電工A&I
▽十勝川B＝勝興寺＝ネッツとかち
▽十勝川C＝North King＝稲田倶楽部
▽十勝川D＝Kris'S＝Tottoko
▽十勝川F＝マリンボーイBS＝帯広信用金庫

〈8日の試合〉

【一般男子走り幅跳び】6㍍95の好記録を出した皆川澄人（白樺学園高）

皆川7メートル目前

高校デビュー戦 6㍍95で制覇

○…高校デビュー戦で皆川澄人（白樺学園高1年）が躍動した。一般男子走り幅跳びを6㍍95で制覇。追い風参考記録となったが、公認でも5回目に自己記録を1㌢更新する6㍍94をマーク。7㍍ジャンパーへ向けカウントダウンは始まった。

1回目に優勝記録を早々と跳んだ。最終6回目での成功だった。

スポーツの日程・記録は▼FAX0155-25-2700
掲載写真の申し込みは▼TEL0120-25-9410